

環境マネジメントシステム 活動報告書

平成30年度



亀岡市役所



目 次

1	亀岡市役所温暖化対策基本方針	1
2	目的・目標	2
3	組織図	3
4	平成30年度 環境マネジメント調査結果	4
5	効果の確認	10
6	温室効果ガス排出量（CO2換算）	11
7	施設のエネルギー使用量について	12
8	マネジメントレビュー（温暖化対策総括者による見直し）	13
9	平成30年度の主な取組	13

亀岡市役所温暖化対策基本方針

基本理念

21世紀の地球環境には、地球温暖化や生態系の危機など多くの課題が顕在化しています。

これら地球環境問題の解決に向けて、市民、事業者、行政などすべての関係者の参加と協働のもと、地球規模で考え、地域で行動する取り組みを通じて、環境にやさしく持続可能なまちづくりを進めていくことが必要です。

亀岡市役所では、事務・事業における環境への影響に配慮し、自然と共生した持続可能な社会の実現のため、環境にやさしい取り組みを定め、地球温暖化対策を推進します。

行動指針

亀岡市は、基本理念の実現に向けて次の取り組みを推進します。

1. 市の事務・事業における温室効果ガスの総排出量を削減します。
2. 施設等におけるエネルギー（電気、燃料、熱等）の使用量を削減するとともに、電力がピークとなる季節や時間帯の電力抑制に努めます。
3. 施設の新設及び更新の際は、省エネルギー及び新エネルギー設備の導入に努め、エネルギー使用量の低減を図ります。
4. エコドライブの取り組み等を通じて、公用車及び通勤車における燃料使用量を削減します。
5. 市の事務・事業におけるごみの排出量を削減します。
6. 温暖化対策基本方針及び本システムの運用成果は、随時公表します。

平成28年 4月 1日

亀岡市長 桂川孝裕

目的

●本システムの目的

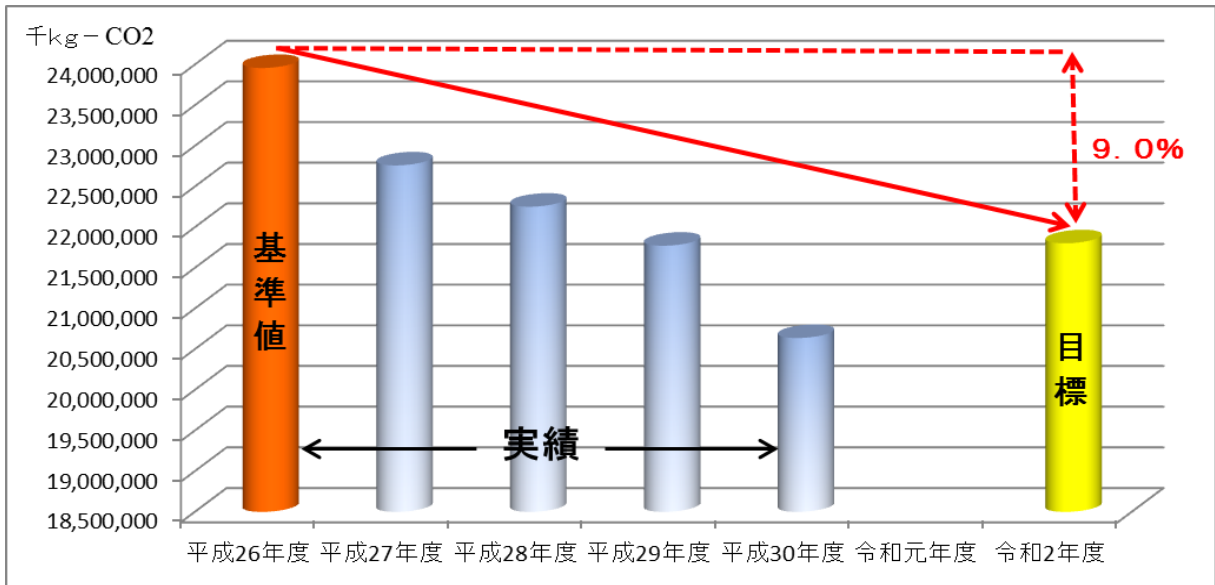
市役所の事務・事業における地球温暖化対策の推進

目標

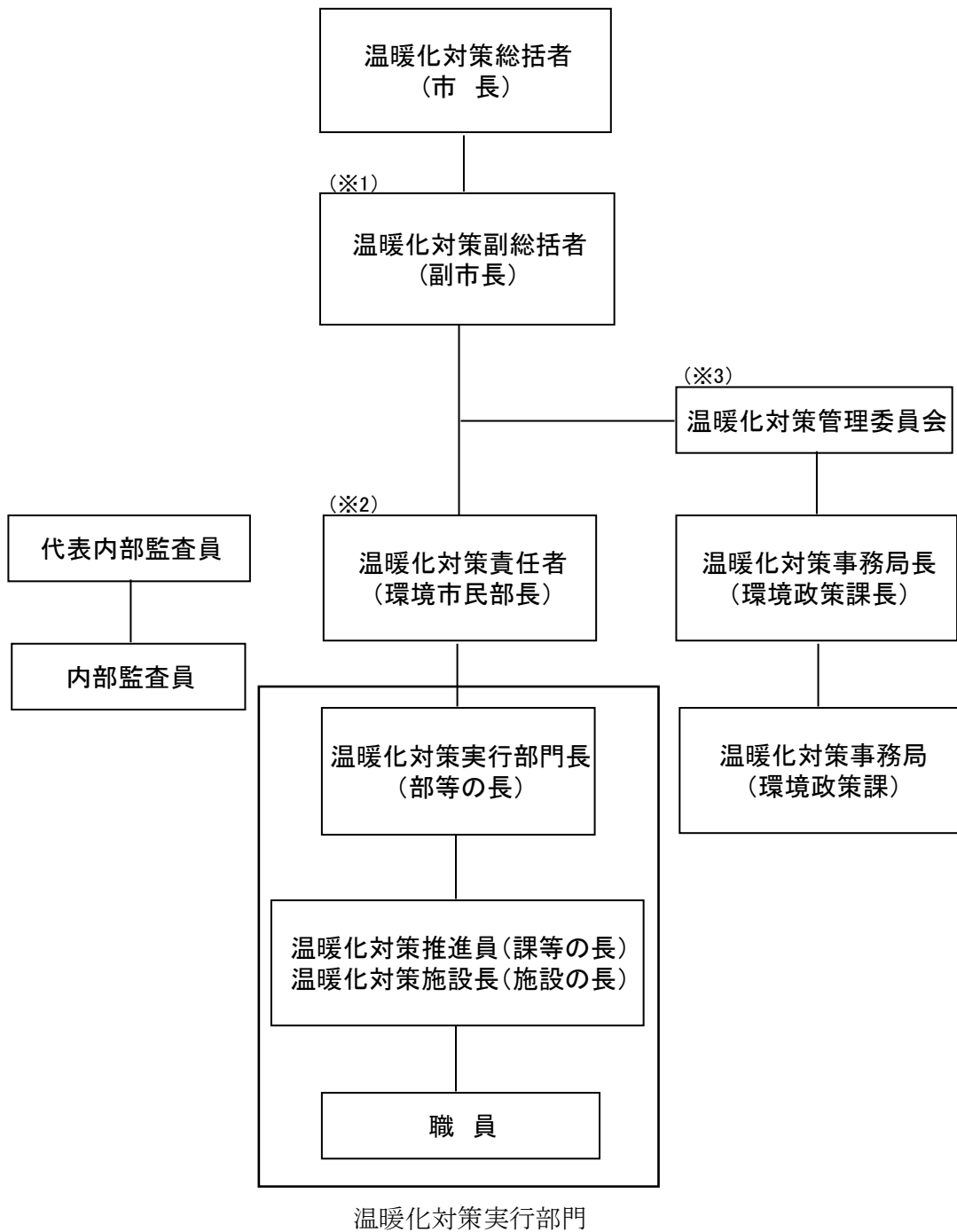
●法令に基づく目標

平成26年度を基準として令和2年度までに市の事務・事業における温室効果ガス排出量を9%削減することを目標とする。

温室効果ガス排出量 (実績と目標)



組 織 図



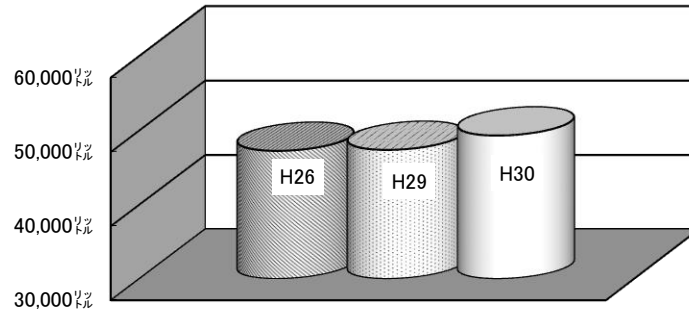
- ※ 1) 温暖化対策副総括者は、省エネ法のエネルギー管理統括者も兼ねる。
- ※ 2) 温暖化対策責任者は、省エネ法のエネルギー企画管理推進者も兼ねる。
- ※ 3) 温暖化対策管理委員会は、亀岡市庁議等に関する規則（平成15年亀岡市規則第15号）第4条第3項に規定する庁議の構成員のうち病院事業管理者及び市立病院管理部長を除く構成員をもって構成する。

平成30年度 環境マネジメント調査結果

○ガソリン使用量

数量

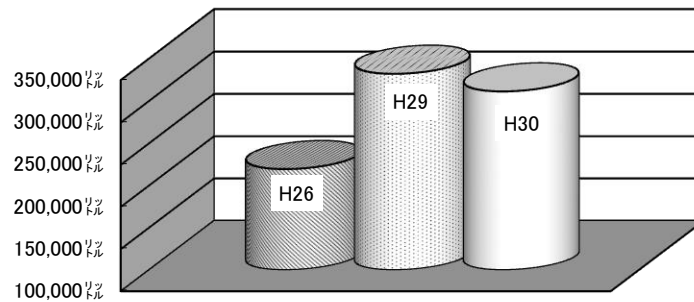
平成26年度	47,264リットル	
平成29年度	47,394リットル	(0.3%) 平成26年度対比
平成30年度	49,321リットル	(4.4%) 平成26年度対比



○灯油使用量

数量

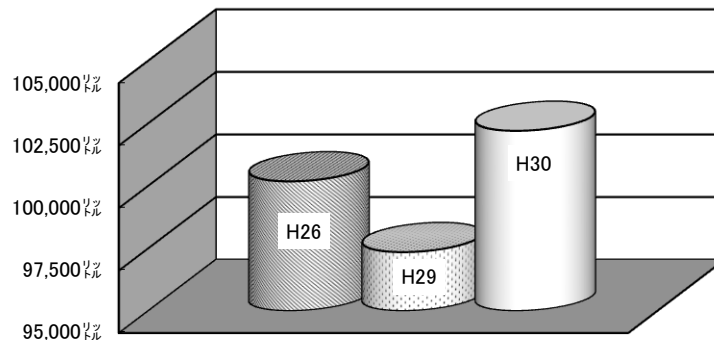
平成26年度	219,624リットル	
平成29年度	332,166リットル	(51.2%) 平成26年度対比
平成30年度	311,390リットル	(41.8%) 平成26年度対比



○軽油使用量

数量

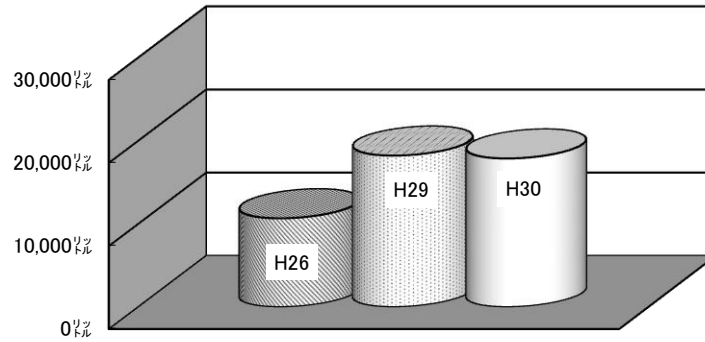
平成26年度	100,180リットル	
平成29年度	97,352リットル	(△2.8%) 平成26年度対比
平成30年度	102,200リットル	(2.0%) 平成26年度対比



○A重油使用量

数量

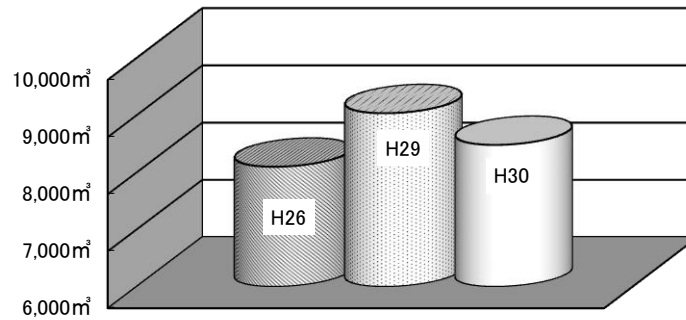
平成26年度	10,668 ^{リットル}	
平成29年度	18,216 ^{リットル}	(70.8%) 平成26年度対比
平成30年度	17,868 ^{リットル}	(67.5%) 平成26年度対比



○LPG使用量

数量

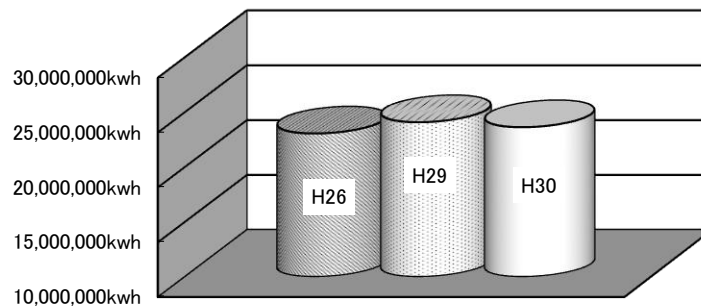
平成26年度	8,104 ^{m³}	
平成29年度	9,040 ^{m³}	(11.5%) 平成26年度対比
平成30年度	8,486 ^{m³}	(4.7%) 平成26年度対比



○電力使用量

数量

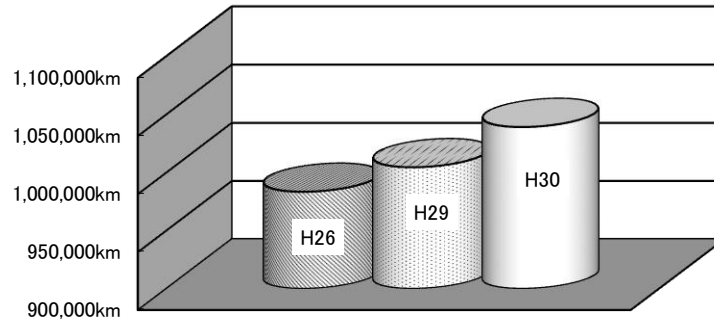
平成26年度	23,062,811kwh	
平成29年度	24,090,057kwh	(4.5%) 平成26年度対比
平成30年度	23,634,692kwh	(2.5%) 平成26年度対比



○公用車走行量

数量

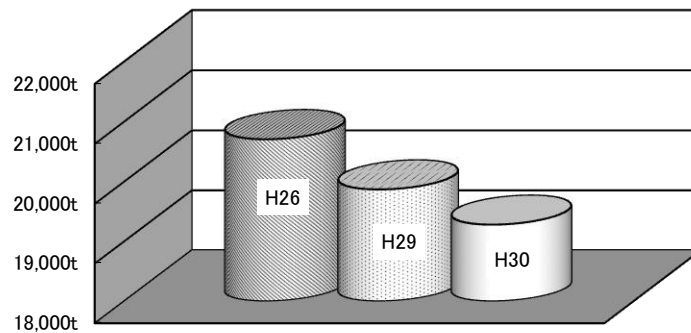
平成26年度	983,550km	
平成29年度	1,004,663km	(2.1%) 平成26年度対比
平成30年度	1,039,233km	(5.7%) 平成26年度対比



○一般廃棄物焼却量

数量

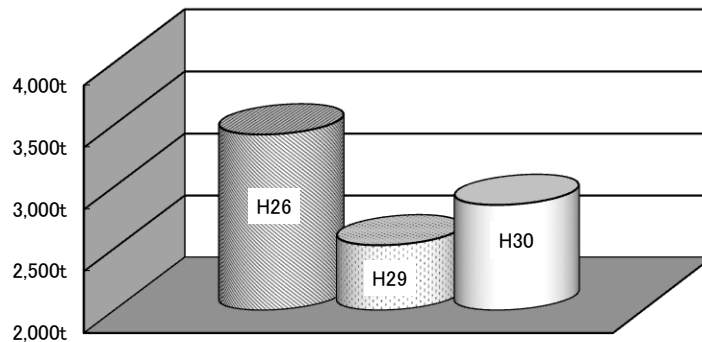
平成26年度	20,708t	
平成29年度	19,871t	(△4.0%) 平成26年度対比
平成30年度	19,282t	(△6.9%) 平成26年度対比



○廃プラスチック焼却量

数量

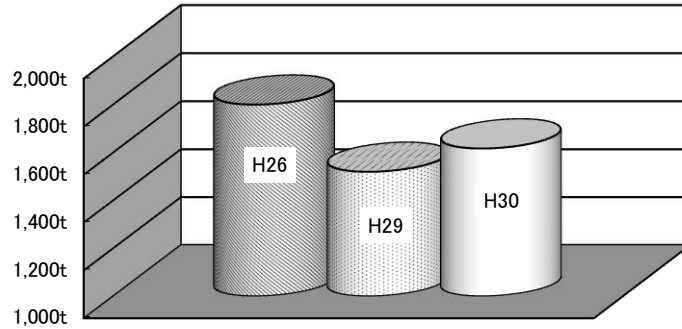
平成26年度	3,420t	
平成29年度	2,526t	(△26.1%) 平成26年度対比
平成30年度	2,852t	(△16.6%) 平成26年度対比



○廃棄物の埋立処分量

数量

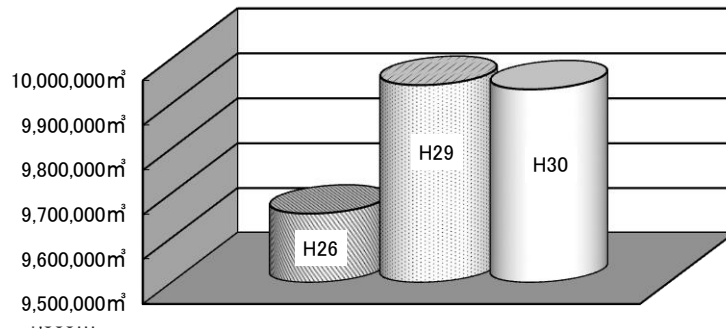
平成26年度	1,800t	
平成29年度	1,520t	(△15.6%) 平成26年度対比
平成30年度	1,617t	(△10.1%) 平成26年度対比



○下水処理量

数量

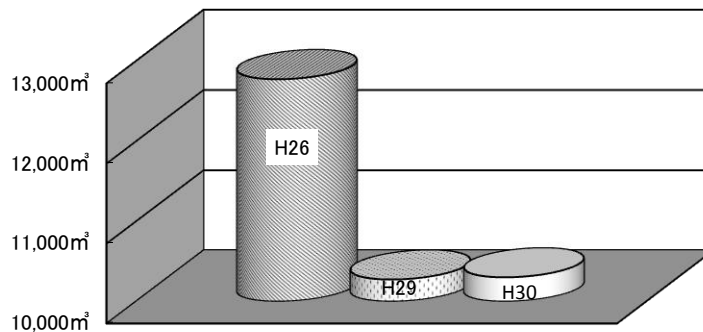
平成26年度	9,654,333m ³	
平成29年度	9,941,137m ³	(3.0%) 平成26年度対比
平成30年度	9,931,576m ³	(2.9%) 平成26年度対比



○OL尿処理量

数量

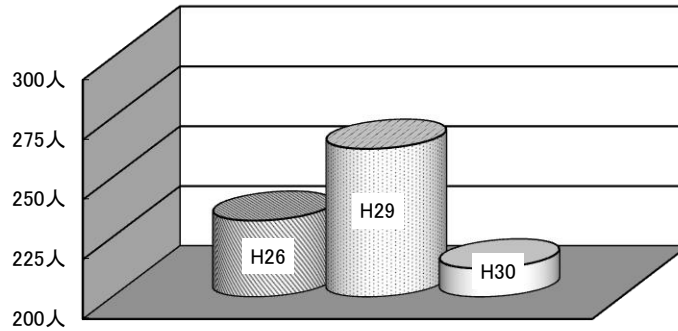
平成26年度	12,775m ³	
平成29年度	10,274m ³	(△19.6%) 平成26年度対比
平成30年度	10,302m ³	(△19.4%) 平成26年度対比



○浄化槽

数量

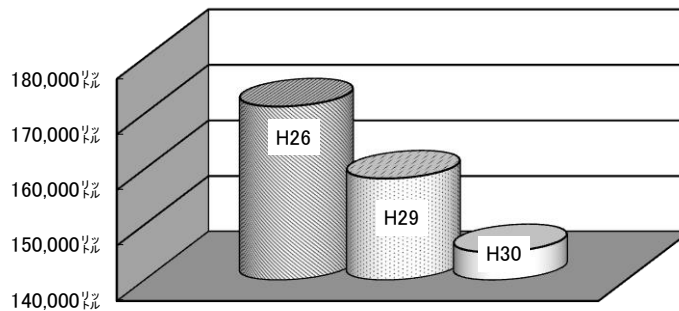
平成26年度	232人	
平成29年度	262人	(12.9%) 平成26年度対比
平成30年度	212人	(△8.6%) 平成26年度対比



○職員通勤車の燃料使用量

数量

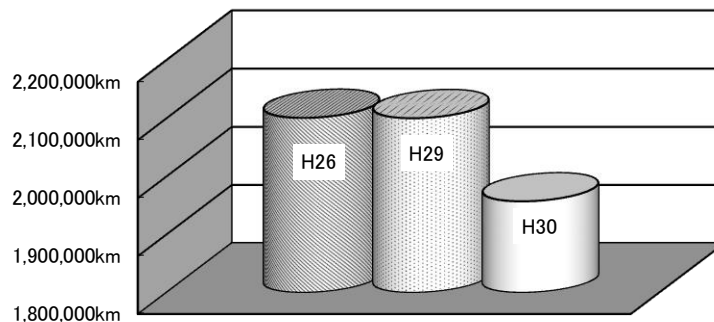
平成26年度	171,253リットル	
平成29年度	158,287リットル	(△7.6%) 平成26年度対比
平成30年度	145,031リットル	(△15.3%) 平成26年度対比



○通勤車走行量

数量

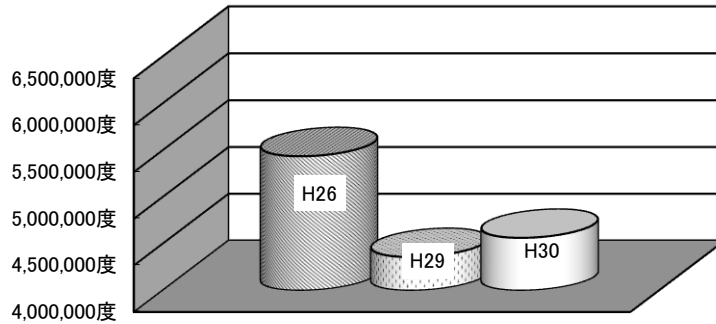
平成26年度	2,101,082km	
平成29年度	2,100,511km	(0.0%) 平成26年度対比
平成30年度	1,957,495km	(△6.8%) 平成26年度対比



○コピー使用度数

数量

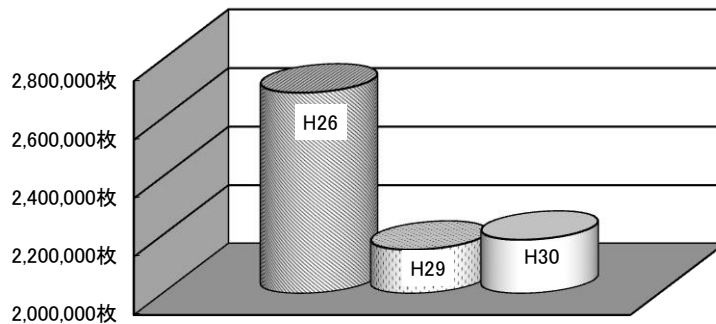
平成26年度	5,437,366度	
平成29年度	4,358,788度	(△19.8%) 平成26年度対比
平成30年度	4,563,889度	(△16.1%) 平成26年度対比



○コピー用紙購入量

数量

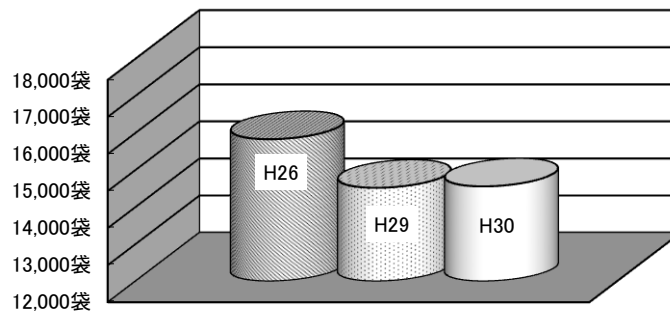
平成26年度	2,686,975枚	
平成29年度	2,150,013枚	(△20.0%) 平成26年度対比
平成30年度	2,184,214枚	(△18.7%) 平成26年度対比



○ごみ袋発生量

数量

平成26年度	15,832袋	
平成29年度	14,521袋	(△8.3%) 平成26年度対比
平成30年度	14,559袋	(△8.0%) 平成26年度対比



効果の確認

環境マネジメントシステムの実施結果の一部を金額で比較した場合（参考）

区 分	単価 ①	H26	H29	H30	差引 (H26-H30) 削減できた額
		数量②	数量②	数量②	
		金額(①×②)	金額(①×②)	金額(①×②)	
ガソリン使用量		47,264 ^{リットル}	47,394 ^{リットル}	49,321 ^{リットル}	△2,057 ^{リットル}
	147円	6,947,808円	6,966,918円	7,250,187円	△302,379円
灯油使用量		219,624 ^{リットル}	332,166 ^{リットル}	311,390 ^{リットル}	△91,766 ^{リットル}
	102円	22,401,648円	33,880,932円	31,761,780円	△9,360,132円
軽油使用量		100,180 ^{リットル}	97,352 ^{リットル}	102,200 ^{リットル}	△2,020 ^{リットル}
	124円	12,422,320円	12,071,648円	12,672,800円	△250,480円
A重油使用量		10,668 ^{リットル}	18,216 ^{リットル}	17,868 ^{リットル}	△7,200 ^{リットル}
	96円	1,024,128円	1,748,736円	1,715,328円	△691,200円
通勤車の燃料使用量		171,253 ^{リットル}	158,287 ^{リットル}	145,031 ^{リットル}	26,222 ^{リットル}
	147円	25,174,191円	23,268,189円	21,319,557円	3,854,634円
計		548,989 ^{リットル}	653,415 ^{リットル}	625,810 ^{リットル}	△76,821 ^{リットル}
		67,970,095円	77,936,423円	74,719,652円	△6,749,557円

※「削減できた額」は、各欄の数量に同じ単価を乗じて算出・比較したものであり、実際にかかった経費を比較したものではありません。

燃料の単価は令和元年5月の契約単価で積算しています。

「通勤車の燃料使用量」欄の単価は「ガソリン使用量」欄の単価を用いています。

温室効果ガス排出量（CO2換算）

※平成26年度を基準に令和2年度までに温室効果ガスの総排出量を9.0%削減する目標を設定

区分	単位	年度	数量	H29/H26 H30/H26	CO2排出量 (kg)	H29/H26 H30/H26	構成比	
燃料使用量	ガソリン	ℓ	H26	47,264		109,653		0.5%
		H29	47,394	0.3%	109,955	0.3%	0.5%	
		H30	49,321	4.4%	114,424	4.4%	0.6%	
	灯油	ℓ	H26	219,624		546,864		2.3%
		H29	332,166	51.2%	827,092	51.2%	3.8%	
		H30	311,390	41.8%	775,361	41.8%	3.8%	
	軽油	ℓ	H26	100,180		258,464		1.1%
		H29	97,352	△2.8%	251,168	△2.8%	1.2%	
		H30	102,200	2.0%	263,676	2.0%	1.3%	
	A重油	ℓ	H26	10,668		28,910		0.1%
		H29	18,216	70.8%	49,366	70.8%	0.2%	
		H30	17,868	67.5%	48,422	67.5%	0.2%	
LPG	m ³	H26	8,104		48,381		0.2%	
	H29	9,040	11.5%	53,967	11.5%	0.2%		
	H30	8,486	4.7%	50,662	4.7%	0.2%		
電力使用量	kwh	H26	23,062,811		12,246,354		51.1%	
		H29	24,090,057	4.5%	12,261,840	0.1%	56.3%	
		H30	23,634,692	2.5%	10,281,091	△16.0%	49.8%	
公用車走行量	km	H26	983,550		7,037		0.03%	
		H29	1,004,663	2.1%	7,114	1.1%	0.03%	
		H30	1,039,233	5.7%	7,395	5.1%	0.04%	
一般廃棄物焼却量	t	H26	20,708		350,393		1.5%	
		H29	19,871	△4.0%	336,222	△4.0%	1.5%	
		H30	19,282	△6.9%	326,253	△6.9%	1.6%	
一般廃棄物中の 廃プラスチック量	t	H26	3,420		9,456,300		39.5%	
		H29	2,526	△26.1%	6,984,390	△26.1%	32.1%	
		H30	2,852	△16.6%	7,885,780	△16.6%	38.2%	
廃棄物の埋立処分量	t	H26	1,800		213,125		0.9%	
		H29	1,520	△15.6%	180,900	△15.1%	0.8%	
		H30	1,617	△10.1%	176,100	△17.4%	0.9%	
下水処理量 (終末処理場)	m ³	H26	9,654,333		672,714		2.8%	
		H29	9,941,137	3.0%	692,698	3.0%	3.2%	
		H30	9,931,576	2.9%	692,032	2.9%	3.4%	
し尿処理量 (し尿処理施設)	m ³	H26	12,775		15,677		0.1%	
		H29	10,274	△19.6%	12,608	△19.6%	0.1%	
		H30	10,302	△19.4%	12,642	△19.4%	0.1%	
浄化槽	人	H26	232		5,012		0.0%	
		H29	262	12.9%	5,660	12.9%	0.0%	
		H30	212	△8.6%	4,580	△8.6%	0.0%	
合計		H26			23,958,884		100.0%	
		H29			21,772,981	△9.1%	100.0%	
		H30			20,638,418	△13.9%	100.0%	

施設のエネルギー使用量について

部・室名	平成29年度	平成30年度	増減理由
生涯学習部	756kℓ	753kℓ	ほぼ前年度並みとなっています
総務部	633kℓ	634kℓ	ほぼ前年度並みとなっています
環境市民部	1,329kℓ	1,355kℓ	若宮工場において、安定した処理を行うため、施設の稼働時間が増えたことなどから、エネルギー使用量が増加しています
健康福祉部	200kℓ	188kℓ	ほぼ前年度並みとなっています
産業観光部	242kℓ	251kℓ	ほぼ前年度並みとなっています
まちづくり推進部	232kℓ	262kℓ	駅前自転車等駐車場がまちづくり推進部に移った分増加しましたが、それ以外はほぼ前年度並みとなっています
土木建築部	24kℓ	0kℓ	—
上下水道部	3,214kℓ	3,058kℓ	簡易水道事業の上水道事業統合により施設の効率化が図れたことや千代川浄水場の一部設備停止のためエネルギー使用量が減少しています
合計	6,632kℓ	6,501kℓ	-131kℓ

- ※ エネルギー使用量を原油換算（kℓ）にして表記しています。
- ※ 施設を有する部等のみ対象としています。
- ※ 指定管理施設も調査対象としています。
- ※ 教育部・市立病院は省エネ法で別サイトとなりますので表示していません。

マネジメントレビュー（温暖化対策総括者による見直し）

●平成30年度マネジメントレビュー（平成31年3月26日）

1 環境方針

環境方針については、変更なし。

2 環境目的・目標

環境目的・目標については、変更なし。

3 環境に関する組織

現行の体制で運用を図ること。ただし、現状に合わせた変更及び機構改革に伴う所要の整備を行うこと。

4 システムに関する要素

亀岡ふるさとエナジー株式会社における低炭素化推進事業の進捗管理とPDCAの実施を行う、亀岡ふるさとエナジー地域低炭素化事業協議会との情報共有を図るため、マネジメントマニュアル5. 実施体制を見直すこと。

5 その他

内部監査において、是正処置書の提出を伴う指摘事項はなく、システムの運用状況は概ね良好となっている。

今後も引き続き、「亀岡市地球温暖化対策実行計画（事務事業編）」及び省エネ法の「中長期計画」に基づき、地球温暖化対策に重点をおいたシステムの運用を図ること。

平成30年度の主な取組

年 月	内 容
平成30年5月	平成30年度 温暖化対策管理委員会を開催（5/28）
平成30年12月	環境マネジメント上半期分の報告（12/11）
平成31年2月	内部監査の実施（2/4～2/21）
令和元年5月	令和元年度 温暖化対策管理委員会を開催（5/27）